



2022 年度「工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀」事業 講演会を開催

【概要】

2022 年 5 月 12 日(木)に、2022 年度「工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀」事業の一環として、佐賀県工業連合会と協同して対面とオンラインのハイブリッドによる講演会を開催しました。

【本文】

理工学部では、佐賀県工業連合会と協同して「工学系高度人材育成コンソーシアム佐賀」を設立しています。本コンソーシアムは、佐賀県の工業系人材の高度化・グローバル化を促進し、佐賀県域の工業界・産業界の活性化を目指して事業活動を行っています。

その一環として、2022 年 5 月 12 日(木)に理工学部 6 号館大講義室にて、講演会を開催しました。なお、本講演会は西九州化学工学懇話会との共催にもなっています。新型コロナウイルスの新規感染者数が減少したことを受け、今年度は対面参加と Zoom を用いたオンライン配信参加によるハイブリッド形式で開催しました。

参加者は本学理工学研究科の本コンソーシアム事業関係者、佐賀県工業連合会の企業関係者および事務局、本学理工学研究科・理工学部の教員・学生、ならびに西九州化学工学懇話会の関係者の 93 名でした。

講演会に先立ち、豊田 一彦 理工学研究科長より挨拶がありました。引き続き、理工学部出身で北米日産自動車シリコンバレー研究所にてシニアマネージャーとして活躍する桑田茂昌氏より、「自動車産業のパラダイムシフトと求められるリーダーシップについて」の演題で講演がなされました。

桑田氏は 1994 年に理工学部工業化学科に入学し、修士学生時代の半年間、ドイツのベルリン自由大学に留学し、本学で博士前期課程を修了した後、ドイツのハイデルベルク大学の博士後期学生として在籍し、博士号を授与されています。その後、日産自動車株式会社に入社し、総合研究所で自動車用の電池開発に携わるとともに、同社のグローバル本社 CEO オフィスを歴任し、現在は米国シリコンバレーの北米日産研究所にて、シニアマネージャーとしてリチウムイオン電池・全固体電池の材料開発に従事されています。

講演では桑田氏の学部時代から現在に至るまでの経歴の中から、グローバルリーダーとしての視点、自動車産業のパラダイムシフト、海外留学、海外駐在などの話題を提供していただきました。いずれも興味深い内容で、講演会参加者（会社経営者、技術者、大学教員、学生）に関連したもので、大変有意義な時間となりました。

桑田氏をはじめ、ご参加いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。



開会の挨拶をする豊田学部長



留学希望の学生からの質問に答える桑田氏